



せんだん

みんな なかよし みなげんき

安来市立南小学校 校長室便り
令和6年2月20日

<https://www.city.yasugi.shimane.jp/gakkou/minami-es/>

南小学校HP

日々の様子を
発信します！



春の温かさを感じる日が続いたと思えば、冬の寒さに逆戻りと体に負担がかかる毎日です。そんな中でも確実に春は近づいています。学校の中庭の白梅も八分咲きといったところでしょうか。先日も学校玄関から駐車場へ向かっている途中「ホッホウ、ホッホウホウホウ。」とあちらこちらからフクロウの鳴く声が聞こえていました。

“あきらめない”

今年は「たつどし」

「いろいろなことに挑戦し、
努力したことが実になる年」

た くさんの人に 「ありがとう」

つ ぎの 学年のじゅんび

ど んどん チャレンジ

し っぱいしても 「あきらめない」



た くさんの人にありがとう、つぎの学年の準備、ど んどんチャレンジ、し っぱいしてもあきらめないという3学期始業式での話。

それぞれについて、12月には、「ありがとう」、1月には、「次の学年の準備」をテーマに話をしました。今月は、「ど んどんチャレンジ」「失敗してもあきらめない」をテーマに話をしました。

毎日、各クラスを見て回るのですが、「先生もう無理です」「できません」「もうしません」（甘え、泣きべそな感じで）という声が聞かれます。もう少し頑張ればできるのにあきらめてしまっている。

エジソンを例に話をしました。エジソンは10000回の実験の失敗を積み重ね様々な発明改良をしています。しかし、エジソンは失敗と捉えていません。「これではうまくいかない方法」を発見したと考え、挑戦を繰り返し世紀の発明につなげています。

朝鮮の昔話に「さんねん峠」という絵本があります。この峠で転ぶと3年しか生きられないというのです。そこで転んでしまったおじいさんはみるみる病気になるてしまいましたが見舞いに来た若者の言葉で元気になります。「一度転ぶと3年、二度転べば6年、三度転べば9年。転べば転ぶほど元気になる」と。

見方、考え方を変え、あきらめず挑戦することが成功することにつながります。

3学期は、まとめの学期であると同時に0学期=次の学年の準備です。いろいろなことにあきらめずに挑戦し、できることを増やしてほしいと思います。



二中校区小小連携「情報科学高校」

二中校区3小学校の6年生（宇賀荘小は5・6年生）が情報科学高校に集まり、小小連携交流会を行いました。前半はドローンを使ったプログラミング体験をしました。最初は、恐る恐るでしたが、コツをつかむと自分でドローンの動きをプログラムしたり、自分で実際に操作したりと楽しんでいました。グループ内では、違う小学校の子たちとも譲り合ったり、教え合ったりする姿が見られました

後半は、座談会として高校生に中学校生活や高校生活についての質問をしました。高校生は中学校生活で大事にするべきこと（そんなに強い言葉ではありませんが）を自身の経験からわかりやすく話してくれました。プライベートなことも含め結構踏み込んだ質問もありましたが、子どもたちに合わせとても丁寧に話してくれました。

卒業に向けた忙しい時期でしたが、思い出の一つとなり、中学生になる皆さんにとっては、他校のみなさんとの顔合わせになる時間となりました。



「手話体験」

3年生が手話を体験しました。始めは、戸惑っていた子どもたちですが、講師に来ていただいたみなさんのお人柄もあり、少しずつ打ち解けてきたようでした。

ろう者の岩田さんと油谷さんはとても表情豊かに手話を使って表現されます。天野さんをはじめとして4人の方にも手話通訳のお手伝いをしていただきました。みなさん表情豊かに手話を使い話されます。最初に天野さんから表情が大切ですよというお話があったのですが、実際に体験してみてもいかに大切であるかがよく分かったようでした。子どもたちもはにかみながらも表情豊かに表現できていました。



“お知らせ”

■コミュニティ・スクール

安来市では令和7年度に、市内の小中学校全校で学校運営協議会制度を導入することになっています。学校運営協議会とは、学校と地域・保護者が知恵を出し合い、力を結集して、子どもたちのために学校をより魅力あるものにしていく話し合いをするところです。学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」といい、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことが期待されています。

※南小では、令和6年度から準備を始めます。